

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月 日			
平成15年度	事業コード	23120	電話	042-769-8373
担当部課名	土木部	土木計画	課	総務調整 班
事務事業名	災害時仮設トイレ用移動人孔蓋整備事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現を目指します	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	10 年度
施策名	第2施策	防災対策の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

県費補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
地震災害時に避難所生活をしない被災者いわゆる在宅被災者が生活をする際、断水などによる家庭水洗トイレ使用不能にあらかじめ対処するため、市内全域の在宅被災者100人に1つの割合で「災害時仮設トイレマンホール用蓋」を計画的に防災倉庫に順次、配備・備蓄する。	直下型地震被害想定中、り災者のうちの避難所に避難しない在宅被災者 対象数 53,000人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
災害時仮設トイレマンホール用蓋の配備 71組(59避難所倉庫)、(累計 75避難所倉庫に各5組) 安全確保用セーフティーコーンの配備 1,320個(75避難所倉庫)、(累計 15個:36避難所倉庫 20個:39避難所倉庫)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	防災倉庫への災害用トイレマンホール蓋配備計画
計画年次	10年度～17年度
	82の避難所倉庫及び4つの一般倉庫に災害用トイレマンホール蓋を計画的に順次配備・備蓄する。

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	配備率(%)	実際の配備数*100 ÷ 配備計画総数	配備する予定数のどれだけ達成できたか?	39	57	71	81	91
	配備箇所率(%)	実際の配備箇所数*100 ÷ 配備計画箇所総数	配備する予定箇所のどれだけ達成できたか?	75	84	87	93	98
活動指標	訓練実施率(%)	(実際の訓練実施回数 ÷ 訓練の計画回数)*100	予定の訓練回数のどれだけを実施できたか?	133	100	100		

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	11,641	11,641	10,407	7,260	6,600
	人員・時間数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	人件費	885	885	885	839	839
	その他経費					
	合計	12,526	12,526	11,292	8,099	7,439
	特定財源	5,500	5,000	4,500	3,300	3,000
	対象数	97	97	71	55	50
	対象の単位あたり経費	129.1	129.1	159.0	147.3	148.8

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C：達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	指標のとおり成果をあげている。						
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない						
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している						
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 県の補助を受け、市として在宅被災者用に計画的に配備している。						
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である						
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている						
	C：有効ではない		説明 突発的な災害時の対応に備えて配備しているもので、計画どおりに進めている。						
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている						
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている						
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない						
		説明							
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である						
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である						
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)						
		説明							
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額						
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明：		手段	安全確保のために配備しているセーフティーコーンを災害用トイレマンホール蓋の計画に合わせ順次配備してきたが、16年度には17年度の分を含め単年度の数量を増やすとともに最小限の数とし、入札により差額を生み出す					
				削減額	324 千円				

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント

--